

宇宿商店街の温かさ収録

慶大生16人がCM



CM作りに取り組む慶応大学と鹿児島国際大学の学生
＝17日、鹿児島市の宇宿商店街

鹿児島市の宇宿商店街で十七日、慶応大学と鹿児島国際大学の学生が同商店街の魅力を紹介するCM映像を作った。慶大の課外授業の一環で、同商店街と連携する鹿児島国際大学の学生も協力。人の温かみや笑顔など、商店街の良さを映像にまとめ発表した。

鹿国大生も協力 HPPに掲載へ

社会に触れコミュニケーション能力を学んでもらおうと、慶大環境情報学部の加藤文俊准教授(かとうぶんじゅん)は、二〇〇四年から商店街でのCM制作に取り組んでいる。加藤准教授が、同商店街振興組合の河井達志理事長(かわいだし)と三月に知り合ったことがきっかけで、来鹿した。

同日は、慶大二一四年生の十六人と、鹿児島大地域創生学科の十人が四班に分かれ、商店街を歩いて、街の人から話を聞いた。構成などを考えながら自分たちで撮影し、一分程度の映像にまとめた。

河井さんは「私たちが気づかなかつた、若者の目から見た商店街の良さを指摘してもらった。作ってもらったCMは商店街のホームページに載せたり、今後の街づくりなどに有効に活用していきたい」と話した。

夜には発表会があり、学生や商店街の四十人ほどが出席した。元氣よくあいさつする警備員を取り上げたり、店員の笑顔を集めた映像などを紹介。商店街を歩いている途中でヘッドホンを外した男性が、電車の音や話し声など生活感あふれる音の心地よさに気付くという作品もあり、出席者は地元の魅力を再認識した様子だった。